

分ければ資源、混ぜればごみ ～1人1日の排出量300gをめざして～ ごみ減量化のお願い!

問 建設課 生活環境係 ☎62-9114

私たちが持続可能な社会を実現していくうえで「ごみ問題」は避けて通れません。

町では、ごみの減量化を目的に平成22年度より「1人1日の排出量300g（家庭系可燃ごみ）」の目標を立て、ごみ減量の推進と分別収集の充実などに取組んでいます。

令和3年度は、前年度より6gの減量となりましたが、令和4年度は4gの増加となりました。

目標達成のためには、何よりも町民一人ひとりのご協力が必要です。普段の生活においてもごみを増やさないことを意識していただき、引続きごみ減量化へのご協力をお願いします。

※富士見町の家庭系可燃ごみの排出量(実績)

年 度	R1	R2	R3	R4
1人1日量	381g	390g	384g	388g

目標値:300g/日



なぜごみを減らす必要があるのか

- 焼却ごみが増えると、地球温暖化の原因となる温室効果ガス（二酸化炭素）の排出増加と化石燃料使用の増加を招きます。
- ごみを処理するためには多くの費用がかかります。ごみを減らすことで、町が負担する経費の削減が図れます。
- ごみを減らすことは、今あるごみ焼却施設や最終処分場利用の延命化につながります。

ごみ減量のためにできること

- 生ごみの80%は水分と言われています。ごみの重量を減らすために、捨てる前の「ひと絞り！（水切り）」にご協力ください。
- リサイクルできるごみはできるだけ分別し、資源物収集で出す。燃えるごみはまだまだ減らせます！
- 買いすぎない、作りすぎない、食べ残さない。ごみを元から出さない生活習慣を。

生ごみ処理器等設置事業補助金

★4月より補助内容が拡充されています。

家庭から出る可燃ごみの重量の内、約40%が「生ごみ」によるものと言われており、また、その「生ごみ」についても重量の約80%は水分が占めていると言われています。可燃ごみの中でも大きな重量を占める「生ごみ」を減量するため、町では町民の方がホームコンポストや電気生ごみ処理機等を購入した場合に補助を行い、生ごみの自家処理を推進しています。

◎ 生ごみはできるだけ自家処理しましょう!

	対象基数	補助額	限度額
生ごみ処理器	2基まで	-1/2以内 →2/3以内	なし
電気生ごみ処理機	1基まで	-1/2以内 →2/3以内	20,000円 →30,000円

補助金額：購入価格の2/3以内で、100円未満の端数切り捨て
申請手続：購入後、生活環境係の窓口にて申請手続き
持参するもの：①領収書又はレシート(購入品と購入日のわかるもの)
②補助金の振込口座のわかるもの ③印鑑

※1世帯あたりの補助対象基数を超えて申請はできません。

※令和5年4月1日以降の申請より補助額等が拡充されています。